

駒やかカイゼン運動の報告

参議院選挙におけるカイゼン

《経費節減と意識向上》

選挙管理委員会 今田 佳子

◎今回の参議院選挙での変更点

- 1 国からの執行経費について2割削減が提示された。(550万円)
投票所を減らしたことにより、経費も減らされた。(400万円)
19年度 28,818千円 - 今回 18,421千円 = 10,397千円
- 2 行財政改革の中での投票所の削減の実施。
53投票所 ⇒ 27投票所



◎変更点からの課題 (=カイゼン点)

- 1 経費の節減
- 2 投票所を減らしたことでのマイナスを市民サービスの向上でプラスにする。

《 経費の節減 ① 》

入場券封入

・各課に依頼している。

⇒依頼時に若手職員、経験者をお願いしている。

場合によっては、変更を依頼



前回(平成22年)・・・ 21人で7時間
⇒147時間

今回・・・・・・・・・・・・ 25人で4時間
⇒100時間

* 経験者をお願いしたことで、時間の短縮が図られた。

* 若手職員を依頼したことで、単価が抑えられた。

《 経費の節減 ② 》

期日前投票従事者

・各課に依頼している。

⇒時間外の時間帯については、若手職員に変更を依頼した。



6名について変更依頼し、
平均@3,390円 ⇒ @1,760円
従事時間数 21時間

変更を依頼したことによる節減額

* 差額 1,630円 × 21時間
= 34,230円

《 経費の節減 ③ 》

投票所従事者

- ・投票所が53箇所から27箇所になったことにより、65名の減。
- ・従事できる人について、基本的に若手から貼り付け。
- ・職務代理者の世代交代。

前回(平成22年)	226名
今回	161名

《 経費の節減 ④ 》

開票作業

- ・時間短縮を目標に、無駄のない作業の流れを検討、的確な指示

県選挙区	開始時間	終了時間	作業時間
前回(平成22年)	21:10	23:35	2時間25分
今回	21:00	22:35	1時間35分



50分の短縮

比例代表	開始時間	終了時間	作業時間
前回(平成22年)	21:10	26:15	5時間05分
今回	21:00	25:03	4時間03分



62分の短縮

《 投票所を減らしたことでのマイナスをプラスに 》

- ①土足化を実施した。(11 施設)
- ②動線をつけてわかりやすくした。



職務代理者を世代交代 ⇒ 《意識向上》

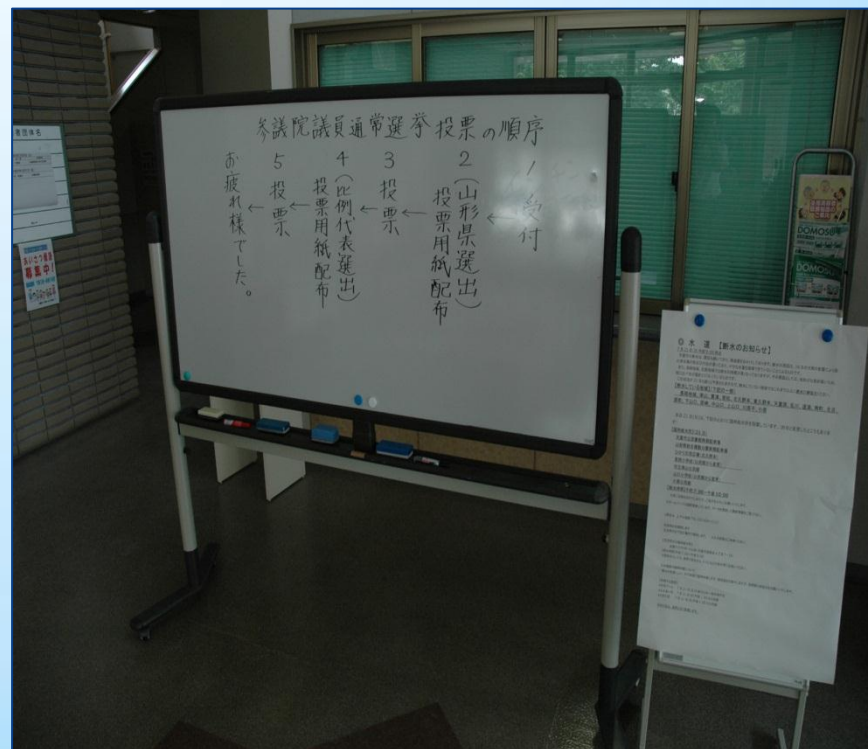
市民の方が安心して投票できるようそれぞれ工夫し、対応した。

- ・土足化に伴い、フロアーマットの敷き方
- ・会場のレイアウト(動線、案内版)

* 会場設営



* 投票の流れの説明



参議院選挙のカイゼン点

◎カイゼン点

- ①若手職員の積極的配置、職務代理者の世代交代
- ②時間短縮の努力
- ③市民サービス



◎効果

- ①時間外 5313時間、13,480千円 ⇒ 4,293時間、9,995千円
⇒ 1,020時間、3,485千円の経費削減
- ②職務代理者について世代交代
⇒ 市民の利用しやすさを考え、意識向上、市民サービスの向上